

教材名 「枕草子」
清少納言

教科書 P 32 ~ 33

第6回～第8回



〈第6回〉

課題

枕草子について知り、本文に使われている歴史的仮名遣いを確認しよう。

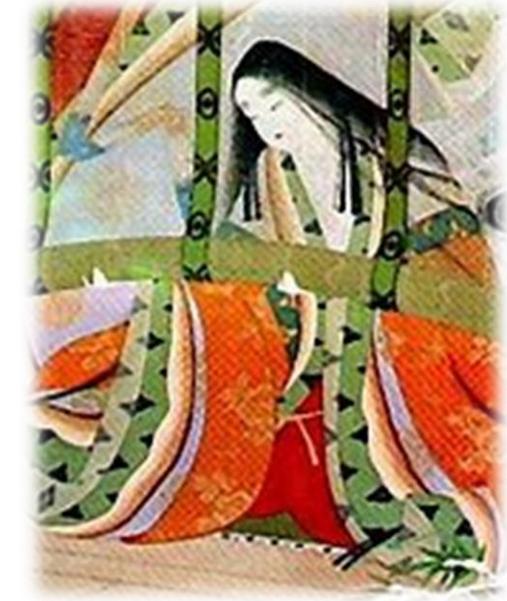
<学習の流れ>

- ①次のページの「枕草子について」を読んで、枕草子について知ろう。
- ②「枕草子」に使われている歴史的仮名遣いを確認しよう。



枕草子について

- ・書かれた時代
 - ・作者
- ・・・ 平安時代
- ・・・ 清少納言



清少納言とは、平安時代中期の歌人 清原元輔の娘。
一条天皇の中宮定子に仕えた。



百人一首の中に、
清原元輔と清少納言の
和歌があります。



・枕草子に書かれている内容

清少納言が官仕え(一条天皇の中宮定子に仕えていた)していた頃、見聞きしたことや季節の感想、人生観などを書き記した隨筆。

→枕草子は、**日本最初の隨筆集**。

*隨筆…見聞きしたことや・体験・感想などを、自由な形式で書いた文章。

・平安時代の文学

平仮名が女文字として広がり、高い教養をもつ女房(官仕えする女性)たちが優れた文学作品を生み出した。紫式部が書いた「源氏物語」も同時代の作品。



〈第7回〉

課題

清少納言の、ものの見方や感じ方をとらえ、表現の工夫について考えよう。

〈学習の流れ〉

- ①作者がそれぞれの季節にふさわしい風物として挙げているものを確認しよう。
- ②作者の表現のしかた(文章の書き方)の特徴をまとめよう。



〈第8回〉

課題 「枕草子」の単元まとめをしよう。

〈学習の流れ〉

- ①四季の中で、自分自身が第一と感じるそれぞれの季節の風物を書こう。
- ②「枕草子」の書きぶりを参考にして、自分流「枕草子」を書こう。

